

【報道関係各位】

2020年12月15日
日本酒造組合中央会

コロナ禍で帰省なきお正月を出身地の地酒で“帰省気分”を味わうことがトレンド！ 日本酒業界団体が「2020年の飲酒動向調査」を発表

- ◎ 女性はチャレンジ好き！？今年初めて日本酒を飲んだ女性は男性を上回る！
- ◎ 20代、30代女性は進化系日本酒女子！自分たちらしく好きな日本酒を探している

日本酒業界最大の団体で、全国1,691の蔵元が所属する日本酒造組合中央会（以下：中央会）は、本年11月に全国の20歳～59歳の3,000人を対象に「2020年の飲酒動向調査」を実施。本調査は、新型コロナウイルスの影響を受けた2020年に、日本人の飲酒動向がどのように変容したのかを明らかにし、調査を通じてより豊かな生活や飲酒ライフを提案していくことを目的にしたもので、その年の飲酒動向を調査するのは初の取り組みとなります。

【調査結果トピックス（抜粋）】

- 男女編
 - 女性はチャレンジ好き？コロナ禍で今年初めて日本酒を飲んだ女性は男性より多かった（58.7%）
 - 女性20代、30代の7割以上が日本酒を選ぶ基準として「味わい」としていることが判明。また他のどの年代よりも「料理との相性」を重視
 - 女性40代、50代は辛口のお酒を好みがち。一方、女性20代、30代は甘口のお酒を選ぶ傾向にあり、自分たちならではのスタイルで好みの日本酒を選んでいる
- オンライン編
 - 全国的に見ると、オンライン飲み会をした人は13.3%にとどまっているものの、オンライン飲み会をした人のなかで73.3%が「非常に楽しかった」・「楽しかった」と回答
 - 意外と日本酒離れていない！？オンライン購入で、ビールの次に日本酒を購入する人が多かった
- 年末年始編
 - 最大の日本酒需要期である年末年始に「日本酒を飲みたい」、とする人が63.3%。さらに若年層である20代の半数が年末年始に日本酒を飲みたがっている
 - 67.7%の人が今年帰省しないと回答。性別年代別では、50代女性の79.2%が控えると回答
 - 帰省した時の楽しみは地酒！「家族・友人に会う」「郷土料理を食べる」に次いで、「地酒を飲む」がランクイン
 - コロナ禍で帰省なきお正月を出身地の地酒を飲むことで“帰省気分”を味わう傾向が読み解ける
 - 熱燗を飲みたい、とする人が半数以上。男性30代の58.4%が一番熱燗に興味を示すなど、意外とミレニアル世代が熱燗を楽しんでいる

<<日本酒造組合中央会 理事 宇都宮 仁>>

ネットでお酒やつまみを買って飲み会もオンラインで盛り上がるなど、2020年は、私たちの生活様式は大きく変わりました。冬のお燗は体も心も暖めますし、年末年始には日本酒との組み合わせでおいしくなる鍋やおせち料理などが食卓にならびます。今年帰省が難しいという方も、両親や兄弟、友人間でのビデオチャットの際にはネットでのお取り寄せを利用して郷土料理と地酒を楽しんでみませんか。

- 調査結果トピックスの詳細については次頁以降を参照ください。

【男女編】

女性はコロナ禍において、新しいことにチャレンジする人が多く、今年初めて日本酒を飲んだ人が約 6 割に。

	男性	女性
以前から飲酒	50.6%	49.4%
今年初飲酒	41.3%	58.7%

また、女性の 20 代、30 代の 7 割以上が日本酒を選ぶ基準に「味わい」としている。ほかのどの年代よりも「料理との相性」を選んでいることから、自分たち好みのスタイルで好きな日本酒を探していることが判明。また、20 代女性はラベルデザインにも注目していることから、ビジュアルでのインパクトも選択要素になっている

Q.日本酒を選ぶ基準を教えてください。（複数回答可）

	味わい	酒質（純米、	価格	酒蔵	地域	ラベルデザイ	料理との相性
	64.5%	43.0%	40.5%	19.9%	22.7%	9.7%	26.1%
女性20代	71.6%	31.6%	32.4%	14.4%	18.8%	15.2%	33.2%
女性30代	72.0%	44.0%	38.4%	20.4%	18.8%	14.0%	30.8%
女性40代	68.8%	53.6%	41.2%	22.0%	22.4%	9.6%	25.6%
女性50代	63.2%	49.2%	36.8%	21.2%	21.2%	6.0%	22.0%

Q.あなたが好きな日本酒の味の特徴（キーワード）を教えてください。（複数回答可）

女性の 40 代、50 代は男性と同じく辛口の日本酒を好みがち。男性から勧められた日本酒を好きになりやすい傾向になることが読み解ける。一方、女性の 20 代、30 代は甘口のお酒を選ぶ傾向にあることから、勧められたもの以外でもチャレンジして、好きな日本酒を自分で検索して選ぶという傾向。また、どの年代でも好まれるのは「すっきり」とした飲み口

	華やか	甘口	辛口	すっきり	淡麗	濃醇	コク	キレ
	25.3%	27.5%	37.8%	49.0%	17.5%	16.7%	18.5%	27.2%
男性20代	20.8%	26.4%	30.0%	48.8%	15.6%	12.4%	18.0%	20.4%
男性30代	27.2%	24.4%	40.4%	48.0%	18.0%	18.0%	15.2%	29.6%
男性40代	24.0%	16.8%	45.6%	43.6%	16.8%	16.4%	18.0%	30.4%
男性50代	20.0%	15.6%	47.2%	39.6%	21.6%	19.2%	23.6%	34.4%
女性20代	30.0%	42.0%	24.8%	55.6%	12.8%	12.0%	14.8%	16.4%
女性30代	34.4%	42.0%	30.8%	52.8%	14.0%	18.4%	20.4%	27.6%
女性40代	24.8%	29.2%	42.4%	48.0%	21.6%	20.4%	20.4%	31.2%
女性50代	20.8%	23.6%	41.2%	55.6%	19.6%	16.4%	17.2%	27.6%

【オンライン編】

●全国的に見ると、オンライン飲み会をした人は 13.3%。一方、オンライン飲み会を楽しみと感じた人はそのうち 73.3%と、オンライン飲み会は好意的に受け入れられている。

Q.今年、オンライン飲み会をしましたか？

した	133	13.3%
していない	867	86.7%

Q.オンライン飲み会は楽しかったですか？

非常に楽しかった	25	18.8%
楽しかった	73	54.9%
あまり楽しくない	30	22.6%
楽しくない	5	3.8%

オンライン購入で、ビールの次に日本酒を購入する人が意外にも多く、意外と日本酒離れしていないことが判明

Q.オンラインでどんなお酒を買いましたか？（複数回答可）

ビール	98	33.7%
日本酒	47	16.2%
焼酎	42	14.4%
ワイン	42	14.4%
ウイスキー	38	13.1%
その他	24	8.2%

【年末年始編】

最大の日本酒需要期である年末年始に「日本酒を飲みたい」、とする人が63.3%。さらに若年層である20代の半数が年末年始に日本酒を飲みたがっていることが判明

Q.年末年始になると、日本酒を飲みたいと思いますか？

	はい	いいえ
	63.3%	36.7%
男性20代	55.2%	44.8%
男性30代	61.6%	38.4%
男性40代	63.6%	36.4%
男性50代	74.0%	26.0%
女性20代	50.4%	49.6%
女性30代	61.6%	38.4%
女性40代	69.2%	30.8%
女性50代	70.8%	29.2%

コロナ禍で67.7%の人が今年帰省しないと回答。性別年代別では、50代女性の79.2%が控えると回答

Q.今年の年末年始は、帰省されますか？

	はい	いいえ
	32.3%	67.7%
男性20代	38.8%	61.2%
男性30代	40.4%	59.6%
男性40代	35.2%	64.8%
男性50代	25.6%	74.4%
女性20代	36.0%	64.0%
女性30代	34.8%	65.2%
女性40代	26.8%	73.2%
女性50代	20.8%	79.2%

帰省した時の楽しみは地酒！「家族・友人に会う」「郷土料理を食べる」に次いで、「温泉に入る」を抜き、「地酒を飲む」がランクイン

Q.帰省した時の楽しみは何ですか？

	家族・友人に会う	郷土料理を食べる	温泉に入る	地酒を飲む	その他
	70.4%	24.2%	10.8%	14.3%	12.6%
男性20代	72.0%	26.8%	11.2%	14.8%	6.8%
男性30代	74.8%	24.4%	11.2%	16.0%	7.2%
男性40代	65.6%	18.8%	10.8%	16.0%	15.6%
男性50代	62.0%	25.2%	10.8%	17.6%	18.4%
女性20代	80.0%	25.6%	11.6%	12.8%	6.8%
女性30代	76.4%	26.0%	9.6%	10.0%	9.6%
女性40代	67.2%	29.2%	13.2%	17.2%	12.4%
女性50代	64.8%	17.2%	7.6%	10.0%	24.0%

熱燗を飲みたい、とする人が半数以上。男性30代の58.4%が一番熱燗に興味を示すなど、意外とミレニアル世代が熱燗を楽しんでいることが明らかに。年末年始や冬の寒い時期＝日本酒、を楽しんでいる人が多いことがわかった。

Q.熱燗を飲みますか？

	はい	いいえ
	50.3%	49.8%
男性20代	46.8%	53.2%
男性30代	58.4%	41.6%
男性40代	55.2%	44.8%
男性50代	57.6%	42.4%
女性20代	38.8%	61.2%
女性30代	45.6%	54.4%
女性40代	46.8%	53.2%
女性50代	52.8%	47.2%

【調査概要】 <<2020年度調査>>

- ・調査者：日本酒造組合中央会
- ・調査期間：2020年11月18日～25日
- ・調査対象：20～59歳の男女3,000名
- ・調査手法：ウェブ定量調査

また、本市場動向調査の実施をもとにわかった、女性・男性それぞれが好む日本酒を一度に飲み比べることができる試飲セット2種を12月16日(水)～1月15日(金)まで期間限定で、日本酒造組合中央会が運営する日本の酒情報館で提供します。

※女性の好むタイプ：華やか・甘口・すっきり

※男性の好むタイプ：辛口・すっきり・キレ

※2杯(1杯30ml)で200円(税込) ※画像はイメージです



<<日本の酒情報館 今田 周三館長>>

今年はコロナの影響にてインバウンド外国人をはじめとした情報館への来館が減少しました。そのなかで日本酒・本格焼酎カクテルなど新しい飲み方の提案を50種類ほど作るなど、時間があつたからこそ取組めたことも多い年でした。

自分の好みを言葉に表すことは意外に難しく、多くの人は自分がイメージとして持っている酒のタイプと実際に美味しいと感じるものが異なることが良くあります。今回の調査から、若い女性は「華やか・すっきり・甘口」というキーワードを好み、男性は「辛口・すっきり・キレ」というキーワードを選ぶ傾向がみられました。このイメージを体験するセットを考えてみましたので、是非ご注目ください。

※参考

業界トピックス

1. 4月：料飲店に「期限付き酒類小売業免許」付与。これにより、酒類のテイクアウトと量り売りが可能に
2. 6月：フランスソムリエ協会と中央会のパートナーシップ協定締結
3. 全国新酒鑑評会 審査方法の変更 公開きき酒会の中止(4月)、全国焼酎鑑評会審査方法 開催時期の変更(10月)を余儀なくされるなど、恒例のイベント実施に多大な影響があつた
4. 7月：日本酒等をユネスコ無形文化遺産の登録を視野に検討を開始することが閣議決定
5. 新たなGIとして、はりま(2月)、三重(6月)が指定される
6. 10月：清酒の酒税が減税となる
7. 11月：全国の44酒造組合が日本酒フェアを初めてオンラインで開催
8. 11月：「獺祭」が香港のオークションに出品し、(ザザビーズ)1本84万円の高値をつける
9. 11月：BBCが選ぶ「今年の100人の女性」に女性杜氏の今田美穂さん(富久長)が日本人で唯一選ばれる
10. コロナ禍を乗り越えようと、県、酒蔵が力をあわせ、統一ラベルや複数社の清酒ブレンド商品、地域ごとの飲み比べセット商品が大幅に増加

■日本酒造組合中央会について

酒類業組合などに関する法律に基づいた業界団体で、酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、全国の1,691の蔵元(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)が所属しています。また、『國酒(こくしゅ)』といわれる日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんについて情報発信することで、国内外へ幅広く認知向上する活動に取り組んでいます。

≪報道関係者からの問い合わせ≫

日本酒造組合中央会 PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当：北澤(080-4952-8681)、藤岡 Mail:japansake@ssu.co.jp